

Information

第28回日本医療マネジメント学会学術総会

日時▶5月29日(金)～30日(土)

会場▶ポートメッセなごや(名古屋市)

テーマ▶地域住民の健康寿命を延伸する医療マネジメント—医療および福祉施設の健康的な経営も視点にいれて

プログラム▶基調講演「医療・福祉・介護現場の課題解決を目指して—日本医療マネジメント学会の活動を通して考える」宮崎久義(日本医療マネジメント学会)/会長講演「トヨタウェイを基にした病院の風土創りとカイゼン」岩瀬三紀(トヨタ記念病院)/招待講演①『「人の力」と『革新力』が新幹線を進化させ、リニアで日本の未来を拓く』柘植康英(東海旅客鉄道株式会社)/②「ものづくりはひとつづくり—トヨタ生産方式とロボット技術が現場のエンゲージメントを高める」古賀伸彦(トヨタ自動車株式会社未来創生センター、株式会社豊田中央研究所)/③「夜空を彩る三河花火の歴史とサイエンス」磯谷尚孝(株式会社磯谷煙火店)/特別講演①「南海トラフ地震に備える」福和伸夫(名古屋大学)/②「自工程完結によるトヨタの業務品質向上(品質は工程で造り込む)」佐々木真一(トヨタ自動車株式会社)/③「令和8年度診療報酬改定の概要」林修一郎(厚生労働省)/④「老化を理解し、健康長寿を達成する」中西真(東京大学医科学研究所)/⑤「グローバルな感染症の制圧に向けて」俣野哲朗(国立感染症研究所)/教育講演①「看護の将来ビジョン 2040—いのち・くらし・尊厳をまもり支える看護」秋山智弥(日本看護協会)/②「病院の健康寿命を延ばすミドルマネジャー！」小西竜太(北星記念病院)/③「働き方改革の時代に増加し続ける救急需要にどう対応するか」織田順(大阪大学医学部附属病院、日本救急医学会)/④「論文の書き方について—学会雑誌投稿を目指して」長谷川友紀(東邦大学)/教育セミナー①「クリティカルパス」片刈茂(朝日野総合病院)、村木泰子(NTT東日本関東病院)/②「医療安全」相馬孝博(群馬大学大学院)、田中和美(群馬大学大学院)、栗田健郎(千

葉大学医学部附属病院、千葉大学大学院医学研究院)、大内邦枝(千葉県がんセンター)、齊藤正昭(自治医科大学附属さいたま医療センター)/会長特別企画/メインシンポジウム/シンポジウム/市民公開講座

参加申込期間▶[早期]～4月24日(金)14:00、[通常]4月28日(火)10:00～5月30日(土)14:00

参加費▶[早期]一般9000円、初期研修医5000円、学生3000円、[通常]一般1万1000円、初期研修医6000円、学生4000円

*初期研修医は所定のフォーマットによる証明書、学生は学生証のアップロード要

参加申し込み方法▶下記URLより

<https://www.congre.co.jp/jhm2026/registration/index.html>

問い合わせ先▶運営事務局

〒461-0008 愛知県名古屋市中区武平町5-1 名古屋栄ビルディング7F 株式会社コングレ中部支社内

☎ 052-950-3430

FAX 052-950-3370

✉ jhm2026@m.congre.co.jp

<https://www.congre.co.jp/jhm2026/index.html>

第28回日本母性看護学会学術集会

日時▶6月14日(日)

会場▶北里大学白金キャンパス 大村記念ホール他(東京都港区)

テーマ▶命の始まりを支える母性看護

プログラム▶会長講演/特別講演「Oxytocin and the Family in the Perinatal Period—The Hormone of Bonding and Its Possibilities (仮)」/教育講演①「出生前診断に基づく周産期緩和ケア」/②「周産期の父親のメンタルヘルス—女性だけではない父親の産前・産後うつ(仮)」/シンポジウム「命の始まりを支える母性看護—教育・臨床・地域がつむぐ母性支援」/ワークショップ「東洋医学から心と身体を読み解く—四診による体質チェックとセルフケアのすすめ(仮)」/理事会企画/一般

口演/ポスター発表/ランチョンセミナー/教育セミナー

*教育セミナーはオンデマンド配信のみ、その他は現地開催(一部後日オンデマンド配信)

参加申込期間▶[第1期]～4月20日(月)、[第2期]～5月22日(金)、[第3期]～7月31日(金)

*申込時「現地参加」を選択した場合、オンデマンド配信視聴も可

参加費▶[第1期]会員7000円、非会員1万円、[第2期、第3期]会員1万円、非会員1万3000円、学生2000円

*学生は大学院生を除く大学生や専門学校生、登録時に学生証のコピー添付要

参加申し込み方法▶下記URLより

<https://square.umin.ac.jp/jsmn28/registration.html>

問い合わせ先▶運営事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 株式会社MAコンベンションコンサルティング内

☎ 03-5275-1191

FAX 03-5275-1192

✉ jsmn28@macc.jp

<https://square.umin.ac.jp/jsmn28/>

日本老年看護学会第31回学術集会

日時▶6月20日(土)～21日(日)

一部後日オンデマンド配信予定

会場▶別府ビーコンプラザ(別府国際コンベンションセンター)(大分県別府市)

テーマ▶住み慣れた地域で老い暮らす幸せ

プログラム▶会長講演「住み慣れた地域で老い暮らす幸せ」三重野英子(大分大学)/特別講演①「高齢者が暮らす地域の可能性をどうアセスメントするか—ソーシャル・キャピタルの視点から地域をみる(仮)」藤内修二(大分県東部保健所)/②「暮らしの中で死に近づくこと—ホームホスピスわれもこうの活動」竹熊千晶(熊本保健科学大学)/教育講演①「高齢者の安心・自立・尊厳を支えるノーリフティングケア」保田淳子(一般社団法人日本ノーリフト協会)/②「認知症の人の日常生活・

社会生活における意思決定支援ガイドライン第2版』の徹底解説」成本迅（京都府立医科大学大学院）／③「施設で暮らす幸せを支える（仮）」藤野あゆみ（愛知県立大学）／④「肺炎診療ガイドラインにおける高齢者肺炎の考え方（仮）」小宮幸作（大分大学）／教育セミナー①「気象変動と高齢者の健康」神田秀幸（岡山大学学術研究院）／②「高齢者のエンド・オブ・ライフと血液透析の差し控えを考える」立原怜（島根県立中央病院）／③「認知症診断直後から始める支援—新たな認知症観が導く看護のパラダイムシフト」飯山有紀（熊本保健科学大学）／④「地域で暮らす高齢者に対する災害ケアマネジメント（仮）」松岡千代（甲南女子大学）／⑤「加齢性難聴と認知症（仮）」平野隆（大分大学）／シンポジウム①「地域に出かけ高齢者から学ぶ教育実践」坪井桂子（神戸市看護大学）、木戸菜々美（関西医科大学附属病院）、加藤さゆり（島根県立大学）、砂流榛果（島根県立大学学部生）／②「入院中の高齢者の願いを聴きかなえる組織マネジメント」渡邊裕美（大分岡病院）、岡村奈緒美（聖隷浜松病院）／③「食べる力を支える力に—多職種でつなぐ食の支援」高島英昭（長崎大学病院）、加藤節子（一般社団法人にぬふぁ星）、嶋津さゆり（熊本リハビリテーション病院）、中村太一（訪問看護ステーション言の葉）／合同シンポジウム（日本緩和医療学会共催）「最期の時まで幸せな老いを支え合うコミュニティ—日本のコンパッションコミュニティの現在地とこれから」堀田聡子（慶応義塾大学大学院）、山内勇人（在宅支援クリニックえがお）と当事者・“新”家族、竹之内沙弥香（京都大学大学院）／理事会企画『「高齢者の人生の最終段階における医療・ケアに関する立場表明2025」を学ぶ』／市民公開フォーラム「高齢者の自動車運転と健康生活—安全運転寿命をのばす・運転を卒業するを考える」正成祐治（大分県警察本部）、佐藤友美（JCHO湯布院病院）、坂本信江（竹田市地域包括支援センター）／プロジェクト委員会企画『「立場表明2016」から「認知症の人と医療機関の架け橋となる看護への提言」へ」（オンデマンドプログラム）／ほか

参加申込期間▶[事前] 3月11日(水)～5月13日(水)、[現地] 6月20日(土)～21日(日)、[後日] 7月10日(金)～8月31日(月)予定

参加費▶[事前] 会員1万円、非会員1万2000円、[現地] 会員1万2000円、非会員1万2000円、学生6500円、[後日] 会員1万2000円、非会員1万2000円
*学生は大学院生、認定教育課程は除く
*後日参加登録は一部プログラムを除くオンデマンド配信のみ

問い合わせ先▶学術集会事務局

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1
オザワビル2F 株式会社ワールドプランニング内

☎ 03-5206-7431

*土日祝日除く 10:00～12:00、13:00～17:00

☎ 03-5206-7757

✉ office@rounenkango.com

<https://www.rounenkango.com/shuukai/31kai/>

第31回3学会合同 呼吸療法認定士認定講習会 および認定試験

■認定講習会

受講資格▶下記①②をともに満たすこと

①以下a)～e)のいずれかの免許および実務経験年数（実務経験は免許登録日以降、申請日まで）を有する者：a) 臨床工学技士（経験2年以上）、b) 看護師（経験2年以上）、c) 准看護師（経験3年以上）、d) 理学療法士（経験2年以上）、e) 作業療法士（経験2年以上）

②受講申し込み時から過去5年以内に、認定委員会が認める学会や講習会などに出席し、12.5点以上の点数を取得している者（受講証／修了証の写しが必要）

*認定委員会が認める学会および講習会は下記ホームページ上で確認

<https://www.jaame.or.jp/iryo/kokyu/point.html>

（各学会や講習会主催者へは開催時期、申込方法以外の問い合わせはしないこと）

■認定試験

受験資格▶第31回認定講習会受講者、または第31回認定講習会受講免除者

*第29回[2024年度]、第30回[2025年度]の認定講習受講者は、第31回[2026年度]認定試験受講免除者として申請できる。免除申請時に必要な書類等：顔写真付き本人確認書類・受講票（会場受講者）・受験票のいずれか、戸籍抄本[過去申請時と氏名が異なる場合]

【以下、共通】

申込等詳細▶実施要領および申請書類の入手はダウンロードのみ。郵送での請求対応、事務局での直接配布は行っていない。申請時メールアドレスの登録要

申請期間▶～4月21日(火)

*申請は「オンライン」のみ

問い合わせ先▶3学会（日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会）合同呼吸療法認定士認定委員会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-34 本郷MKビル2F 公益財団法人医療機器センター内

✉ kokyu-m@jaame.or.jp

<https://www.jaame.or.jp/iryo/kokyu/apply/index.html>

*掲載している情報は2月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。